「やさしく　かしこく　たくましく」

学校評価だより

平成３０年９月２７日　佐渡市立畑野小学校

http://hatano-es.sado.ed.jp/
Eメール　hatano-es@sado.ed.jp

中間評価について

校長　古塩　正明

『学校評価だより』では、これまでの取組の中間評価についてお知らせします。十分に成果が上がっている項目もありますが、さらに工夫改善を要する項目もあります。内容や方法をさらに工夫し子どもたちの成長を確かなものにしていきたいと考えています。

これからも、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

１　学力向上の取組の充実

目標①　Web配信テスト（３年生以上），単元テスト（１，２年生）でクラス平均８０点以上にする。

評価

【Ａ】 全学年が達成
【Ｂ】 4学年以上が達成
【Ｃ】 達成した学年が4学年未満

➡ C　３学年

目標②　家庭学習強調週間において，学年×１０分以上を達成した児童の割合を８０％以上にする。

評価

【Ａ】 児童の割合　80％以上
【Ｂ】 70％以上～80％未満
【Ｃ】 児童の割合　70％未満

➡ A　83.2 ％

課題と改善に向けた方策

⑴WEB配信テストに関しては,２学期以降全校体制で取り組めるところは取り組んでいきます。
「分析」や「家庭との連携」について共通理解を図り，２学期以降につなげていきます。
⑵児童が意欲的に自主学習に取り組めるように工夫します。
①自学ノートが終わったら,いつでも見られるコーナーを設けます。（例：自学タワーなど）
②廊下に自学コーナーとして,これまでの掲示したものをファイリングしていきます。

学校関係者評価委員のご意見

○　小学校でも家庭学習の習慣を身に付けて中学校へつなげてほしい。（小中連携の強化）
○　自分で考える力の育成を大切にしてほしい。（学習のやり方を教える等）
○　児童館で宿題をやっている児童が多い。児童館とも連携するとよいと思う。
○　Web配信テストの対策をよくやっていると思うが、成果だけではなく、学習意欲を高めることも大切だと思う。

2　郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進

目標　学校生活アンケートで地域を題材にした学習が「楽しい」と「興味をもって取り組んでいる」と答える児童を90%以上にする。

評価　【Ａ】児童の割合　90%以上
【Ｂ】80%以上～90%未満
【Ｃ】児童の割合　80%未満
➡ B
88 %

課題と改善に向けた方策

○　今までの学習活動をＨＰで情報発信を行い，それを職員に周知することによってキャリア教育への関心を高めて教育活動の充実につなげていきます。
○　地域連携コーディネーターとの話合いを日常的に行うことで佐渡の地域や外部講師の活用をすすめていきます。

学校関係者評価委員のご意見

○ 子供鬼太鼓等、地域の伝統を残す学習活動を大切にしてほしい。
○ 佐渡総合高等学校と連携した「おこし型」づくりの活動は大変よい。今後も継続してほしい。
○ 小中連携を意識したキャリア教育を推進してほしい。
○ 地域の人が学校の教育活動に参画しやすい環境を作ってほしい。

3　いじめ・不登校を生まない学校づくり

目標　学校生活アンケートで「学校が楽しい」と「月別生活目標の肯定的評価」を90%以上にする。

評価　【Ａ】両方とも90%以上
【Ｂ】両方とも80%以上
【Ｃ】80%未満
➡ B
生活アンケート 84%
月別生活目標　94.8%

課題と改善に向けた方策

○　今後も心の健康やQUアンケートを活用して、児童や学級の実態把握をし、指導に生かしていきます。
○　全校体制で学級児童の指導にあたります。
○　道徳の校内研修を生かして、あいさつ、返事、言動・態度、いじめに関する道徳授業を実践していきます。

学校関係者評価委員のご意見

○　縦割り班活動は大変よい。これからも活動を充実させてほしい。
○　あいさつは基本である。児童館でも挨拶指導を行っている。社会全体であいさつ運動を推進してほしい。（大人が手本になる）
○　中学生のあいさつがよい。小学生も中学生を手本にしてほしい。
○　なかなか自分から進んであいさつができない子もいる。まずは、地域や家庭で挨拶をする習慣を身に付ける必要があると思う。
○　気持ちのよい挨拶や返事をしてもらえると嬉しい。
○　いじめや不登校に関する研修会を行ってほしい。